

令和5年度「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」進捗状況（総括表）

施策（山頂、山腹、裾野）ごとの事業取組の状況

1 「山頂」医療・介護の専門職の連携による支援

分野名 （評価対象数）	評価の割合						評価内容	計画達成に向けた今後の主な取組み等
	評価	R1	R2	R3	R4	R5		
在宅医療・介護の専門職の連携 （35）	S	13%	5%	7%	14%	9%	講座等の開催回数や定員をコロナ禍で制限していた事業が改善され、令和5年度は、概ね計画どおり進めることができた。 「地域ケア会議」は、オンライン開催を取り入れながら、計画的に実施しており、専門職の連携を図ることができている。 市民が住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けるための在宅医療と介護の連携に係る体制整備を着実に進めることができている。	今後、後期高齢者人口が増加し、医療・介護を必要とする人の増加が見込まれる。切れ目のない在宅医療や介護の一体的な提供に向け、総合病院等を含めた地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、在宅医療・介護連携体制の強化等に取り組む。精神保健福祉関係機関の職員に対する技術援助は、増加傾向であるが、限られた人工ですべて対応することは難しいことから、個別の電話相談の中で必要な指導・助言等を行うなど、柔軟な対応を検討する。
	A	68%	51%	65%	75%	89%		
	B	11%	10%	5%	5%	0%		
	C	8%	33%	23%	7%	3%		

S	（105%以上）	計画を上回る
A	（90%以上105%未満）	計画どおり
B	（70%以上90%未満）	計画を下回る
C	（70%未満）	計画を顕著に下回る

2 「山腹」市民の連携による地域での支え合い体制の整備

分野名 （評価対象数）	評価の割合						評価内容	計画達成に向けた今後の主な取組み等
	評価	R1	R2	R3	R4	R5		
介護予防（14）	S	45%	0%	9%	18%	14%	介護予防分野については、すべての事業が計画どおりまたは計画を上回って実施することができおり、市民一人ひとりの介護予防に対する意識を高め、高齢期になる前の活動的な状態にある段階からの生活習慣病の予防が促進できている。	介護予防活動への参加者が増加している。 「しぞ〜かでん体操活動グループ支援事業」では、介護予防活動に賛同した市民や民間企業が参画し、自治会館や薬局店舗等に新たな活動拠点を設置している。 引き続き、健康づくりと連携した切れ目のない介護予防活動の展開を図るとともに、フレイルや転倒リスクにつながる難聴については、早期の発見、支援する仕組みを構築する。
	A	45%	18%	36%	36%	86%		
	B	9%	18%	9%	18%	0%		
	C	0%	64%	45%	27%	0%		
生活支援・見守り（51）	S	11%	16%	11%	9%	16%	生活支援・見守り分野については、9割以上の事業が計画どおりまたは計画を上回って実施することができおり、高齢者の生活支援や見守りを関係機関、ボランティア、NPO、民間企業等とともに促進できている。	生活支援・見守りの活動回数が増加するとともに、高齢者生活福祉センターなどの施設利用にあたっては、利用者満足度も向上している。 「認知症サポーター養成事業」では、コロナ禍で認知度が低下したことから、新たな無関心層等への広報活動に取り組み、サポーター数の増加を図る。
	A	70%	70%	77%	83%	80%		
	B	11%	5%	8%	4%	0%		
	C	7%	9%	4%	4%	4%		
生きがい・社会活動（21）	S	17%	6%	15%	10%	19%	生きがい・社会活動分野については、9割以上の事業が計画どおりまたは計画を上回って実施することができおり、高齢者自身がそれぞれの経験や能力を活かして、生活支援・見守りなど地域の支え合い活動等に支える側として参加し、お互いに協力し合い、地域で役割を担うことを通じて、自らの生きがいとして活躍できる環境整備を進めることができている。	「かけこまち七間町（認知症ケア推進センター）の運営」では、認知症予防講座や七間町商店街との連携イベントの実施により、来場者数が大幅に増加している。 高齢者が地域の担い手として生きがい・社会活動に参画するための相談や、実際に自身が活動する機会が増えている。 引き続き、地域が主体となった生きがい・社会活動への支援に取り組む。
	A	56%	39%	45%	40%	76%		
	B	17%	22%	10%	20%	5%		
	C	11%	33%	30%	30%	0%		
住まい（15）	S	12%	6%	6%	6%	0%	「特別養護老人ホームの入居状況の公表」、「サービス付き高齢者向け住宅の供給促進」等は計画通り実施できている。 「中山間地域における生活用水の安定供給事業」では、補助申請があった組合全てに助成することができおり、高齢者が安心して生活するための住まいの確保を推進できている。	「福祉用具・住宅改修支援事業」については、相談できる身近な体制が充実しつつあることから、関係機関との連携強化を図るとともに、予約制や個別対応を取り入れ、引き続き、相談に対応する。 「住宅用火災警報器取付・交換支援事業」は、実施要領の簡素化や支援内容の見直しを行い、また、火災警報器取付・交換の意義、必要性を関連イベントやSNS等を通じて発信しながら、目標達成に取り組む。
	A	65%	71%	65%	72%	73%		
	B	12%	0%	0%	6%	20%		
	C	12%	24%	29%	17%	7%		

「山腹」計 （101）	S	17%	10%	11%	10%	14%	「介護予防」「生活支援・見守り」「生きがい・社会活動」「住まい」の各分野において、コロナ禍を経て、屋外開催等従来の形式から変更しての実施や事業内容の変更・充実化により、再開している事業や計画どおり進めることができている事業が多くあり、市民の連携による地域での支え合い体制の整備を着実に進めることができている。	これまで実施していた講座等のオンライン化や開催回数の増加など、事業の実施内容や方法を工夫し、事業を実施する。 山腹の分野では、事業内容の改善により、計画どおりまたは計画を上回った取組が多く見られた。今後も、社会の現状に合った事業展開ができるよう検討をする。
	A	63%	57%	64%	68%	79%		
	B	12%	9%	7%	9%	4%		
	C	8%	24%	18%	14%	3%		

3 「裾野」市民の自主的な健康長寿・誰もが活躍の取組の促進

分野名 （評価対象数）	評価の割合						評価内容	計画達成に向けた今後の主な取組み等
	評価	R1	R2	R3	R4	R5		
見える化（21）	S	27%	0%	33%	15%	15%	見える化の分野については、9割以上の事業が計画どおりまたは計画を上回って実施することができおり、高齢者のフレイルチェックを継続的に行うことで、自身の健康状態について、「気づき」を促して、健康への意識を高め、高齢者自らフレイル予防に取り組む仕組みづくりが促進できている。また、特定健診、がん検診、歯周病健診等の「健康」に関するデータ分析に基づく施策の実施、及び健康に関する知識の普及などにより、特に中高年期までは生活習慣病、がん、歯周病等にならないよう市民一人ひとりの健康意識向上を図ることができている。	動画配信、屋外での実施等、従来の形とは違った方法で積極的に事業を実施することができている。引き続き、健康状態の見える化や健康に関する知識の啓発ができる方法を工夫する。
	A	45%	48%	33%	45%	75%		
	B	23%	24%	5%	20%	5%		
	C	5%	29%	29%	20%	5%		
知【社会参加】（54）	S	16%	6%	26%	26%	28%	知【就労・社会参加】の分野については、9割以上の事業が計画どおりまたは計画を上回って実施することができおり、就労、ボランティア活動、生涯学習等の社会活動を行う機会が充実しつつある。 特に、高齢者や就職氷河期世代など多様な就労困難者の就労・社会参加を支援し、誰もが生きがいや役割を持ちながら日々の生活を送ることが促進できている。	新型コロナウイルス感染症の第5類への移行後も、クラスター発生などで中止を余儀なくされている事業もあることから、感染状況に応じた適切な施設運営、オンラインでの配信や会場とオンラインの両方を活用したハイブリッドでの開催など、引き続き、就労・社会参加の取組を工夫する。
	A	66%	39%	35%	41%	65%		
	B	16%	16%	12%	12%	6%		
	C	3%	39%	26%	21%	2%		
食【食事】（24）	S	24%	8%	17%	17%	8%	「元氣静岡マイレージ事業」では、市内企業にも事業参加を働きかけ、食生活等に係る目標設定とその達成に向けた取組を働き盛り世代へ拡大することで、市民の健康意識を高め、健康増進を図ることができている。 さらに、「歯と口の健康習慣事業」や「口腔機能向上事業」は、計画を上回るまたは計画どおり実施することができおり、むし歯や歯周病などを予防し、早期からの歯の喪失を防ぐための取組や、口の周りの些細な衰えを主な徴候とする「オーラルフレイル」を未然に防ぐ取組を進めることができている。	調理実習を含む事業においては、開催会場を見直し、さらなる参加者数の増加を図り、生活習慣病や低栄養の予防への取組を進める。 健康・食品産業への支援・育成や、市内の企業等へのリーフレット配布、SNS、メディアの活用を継続して行うことで、今後も幅広い世代への食育の推進を図る。
	A	28%	16%	39%	52%	79%		
	B	44%	12%	4%	17%	13%		
	C	4%	64%	39%	13%	0%		
体【運動】（23）	S	19%	20%	30%	27%	35%	スポーツイベントの実施等では、雨天による中止や、他の事業との重複で開催回数や参加者数が目標以下となることもあったが、概ね、計画どおりまたは計画を上回って実施することができおり、外出を促進し、運動しやすいまちづくりを推進することができている。	勤労者福祉センターでのフィットネス講座では、計画を上回る実施ができおり、引き続き、日常的に無理なく運動できる取組を進める。 また、バリアフリー法における建築物の整備や、ノンステップバスの導入を進め、身体機能が低下しても、自立した日常生活や社会生活をおくることができる環境整備に取り組む。
	A	69%	47%	47%	57%	52%		
	B	3%	7%	3%	7%	9%		
	C	9%	27%	20%	10%	4%		

「裾野」計 （122）	S	21%	9%	27%	22%	23%	「見える化」「知」「食」「体」の各分野において、オンライン形式や動画配信など実施方法の工夫により、積極的に目標達成へ取り組む事業が増え、9割以上の事業が、計画どおりまたは計画を上回って実施することができている。 今後も、「市民の自主的な健康長寿・誰もが活躍の取組の促進」を着実に進める必要がある。	健康づくりや、生きがい・役割づくりを進めるための事業に引き続き取り組むとともに、参加状況に応じたイベント等の会場の見直し、利用者満足度を高めるための工夫等を行い、余暇・趣味の活動、文化・芸術的な活動などの機会を提供する。 また、公共施設のバリアフリー化等を進め、出かけたくなるような環境整備を進める。
	A	54%	37%	39%	49%	67%		
	B	20%	14%	6%	13%	7%		
	C	5%	39%	28%	16%	2%		

持続可能な介護保険制度の実現の事業取組の状況

分野名 （評価対象数）	評価の割合						評価内容	計画達成に向けた今後の主な取組み等
	評価	R1	R2	R3	R4	R5		
持続可能な介護保険制度の実現 （30）	S	8%	8%	0%	7%	7%	介護サービスの円滑な利用促進や介護給付の適正化の取組を概ね計画どおり進めることができおり、高齢者が生きがいを持ち、尊厳を保ちながら自立した生活を送ることができるよう介護保険制度を適正に運営することができている。	各事業は計画どおり進んでいることから、引き続き、介護人材の確保や介護給付の適正化など、持続可能な介護保険制度への対応に取り組む。
	A	79%	71%	79%	90%	93%		
	B	5%	8%	3%	0%	0%		
	C	8%	13%	17%	3%	0%		

※「評価の割合」については、端数処理の関係で合計しても100%にならない場合があります。

令和5年度「静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画」進捗状況（掲載事業）

各事業評価集計表

※（）内は再掲評価対象数

	評価区 分野	S	A	B	C	評価対象数
山頂	在宅医療・介護の専門職の連携	3	31	0	1	35
	小計（割合）	3 9%	31 89%	0 0%	1 3%	35
山腹	介護予防	2	12（1）	0	0	14（1）
	生活支援・見守り	8	41（1）	0	2	51（1）
	生きがい・社会活動	4（1）	16（4）	1	0	21（5）
	住まい	0	11（1）	3	1	15（1）
	小計（割合）	14 14%	80 79%	4 4%	3 3%	101（8）
裾野	見える化	3	15（4）	1	1	20（4）
	知[社会参加]	15（4）	35（19）	3（1）	1	54（24）
	食[食事]	2（1）	19（6）	3	0	24（7）
	体[運動]	8（2）	12（3）	2	1	23（5）
	小計（割合）	28 23%	81 67%	9 7%	3 2%	121（40）
持続可能な介護保険制度の実現		2	28（2）	0	0	30（2）
小計（割合）		2 7%	28 93%	0 0%	0 0%	30（2）
合計（割合）		47 16%	220 77%	13 5%	7 2%	287（50）

S（105%以上） 計画を上回る
 A（90%以上105%未満） 計画どおり
 B（70%以上90%未満） 計画を下回る
 C（70%未満） 計画を顕著に下回る

（健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画）令和5年度掲載事業

No	(1) 事業名	(3) 事業量							(5) 令和5年度実績報告			令和5年度 決算額 (千円)	所管課
		活動指標	計画4年間					③備考	①実績 (令和6年3 月末)	②評価 (令和6年 3月末)	③評価の理由 ※評価がBまたはCの場合は、課題と課題解決に 向けた取組み(対応策等)も記載		
			R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R5～R8年度の4年間 全体での実施結果	R6年度(見込)より増加・減少させた場合 や、					
1 <山頂>医療・介護の専門職の連携による支援													
	(1) 在宅医療・介護の専門職の連携												
1	「自宅ですっと」 在宅医療・介護連携推進事業	「自宅ですっと」 ミーティングの実施圏域	全圏域	全圏域	全圏域	全圏域	全圏域		全圏域	A	計画通り実施できたため。	1,281	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
		退院支援モデル 普及事業の実施(ICT)の活用	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施できたため。		
2	医療・介護・福祉スーパーバイ ザー人材配置事業	スーパーバイザーの配置	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所		2か所	A	計画通り実施できたため。	8,894	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
3	在宅医療・介護連携協議会に よる在宅医療の推進	協議会の開催 部会の開催	4回 随時	2回 随時	2回 随時	3回 随時	11回 随時		4回 随時	A	計画通り実施できたため。	1,507	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
4	専門職、市民を対象とした 研修会等の開催 ア 専門職への研修等 イ 市民への啓発	専門職向け研修の開催	1回	1回	1回	1回	4回		1回	A	計画通り実施でいたため。	196	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
		市民公開講座の開催 出前講座の実施	1回 実施	1回 実施	1回 実施	1回 実施	4回 実施		1回 実施	A	計画通り実施できたため。		
5	地域ケア会議の開催	多職種により検討した ケアプラン数	200件	200件	200件	200件	800件		242	S	各地域包括支援センターで、計画的に会議を開催した結果、目標の検討プラン 数を上回った。	1,832	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
6	在宅医療・介護の提供と連携に 関する実態調査	実態調査の実施	—	—	実施	—	実施		—	A	計画通りであるため。	0	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
7	在宅医等養成研修事業	研修会の開催数	6回	6回	6回	6回	24回		6回	A	計画通り実施できたため。	1,072	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
8	医師等確保対策事業	補助制度を活用し、医師等確保 の取組を行った病院数	5病院	5病院	5病院	5病院	公的病院(5病院)に対 する医師、看護師等の医 療職確保の支援		5病院	A	計画どおり実施した。	11,883	保健衛生医療課
9	山間地医療確保対策事業	山間地診療所(5か所)の開設 状況	100%	100%	100%	100%	山間地診療所(5か所) の開設		100%	A	計画通り実施した。	61,508	保健衛生医療課
10	急病センター管理事業	毎夜間の実施	366日	365日	365日	365日	毎夜間における急病患者 に対する一時的な応急診 療の実施		366日	A	計画通り実施した。	281,159	保健衛生医療課
11	病院群輪番制運営費助成事業	当番実施日数	366日	365日	365日	365日	年間を通じた病院群輪番 制による二次救急医療の 提供		366日	A	計画通り実施した。	306,161	保健衛生医療課
12	精神科救急医療体制整備事業	救急医療体制の確保	366日	365日	365日	365日	24時間365日の対応		365	A	365日の精神科救急医療体制を確保することで、緊急な受診を要する患者や 在宅療養中で不安を持つ患者及びその家族等の相談に対応できた。	25,423	精神保健福祉課
13	在宅当番医制運営事業	日祝日等における初期救急診療 実施日数	72日	72日	72日	72日	日祝日等における初期救 急診療の実施		72日	A	計画通り実施した。	65,157	保健衛生医療課
14	救急歯科センター運営費助成 事業	日祝日等における救急歯科診療 対応日数	73日	72日	73日	73日	日祝日等における救急歯 科診療の実施		73日	A	計画通り実施した。	8,928	保健衛生医療課

15	医療安全支援センター事業	医療安全推進協議会 医療安全支援センター「ほっとはあと」 医療従事者向け研修会 市政出前講座 患者相談窓口情報交換会	2回 実施 3回 満足度90% 1回	2回 実施 3回 満足度90% 1回	2回 実施 3回 満足度90% 1回	2回 実施 3回 満足度90% 1回	8回 実施 12回 満足度90% 4回		2回 実施 3回 満足度97% 1回	A	すべての事業が計画通りに実施され、目標値を達成したため。	263	生活衛生課
16	こころの健康に関する地域支援事業	技術援助実施回数	85回	85回	85回	85回	340回		170回	S	実施回数は、目標値を上回り、計画通り実施した。 複雑で困難な問題を抱える人が増加し、支援機関が多くの課題に直面していることから、実施回数は増加傾向にある。しかし、限られた人的資源の中で、チームを編成して実施するため、対応できる件数には限りがあり、今後は、個別の電話相談の中で必要な指導・助言等を行うなど、柔軟に対応していく必要がある。	95	こころの健康センター
17	認知症対策推進協議会の開催	協議会開催回数	2回	2回	2回	2回	8回		2回	A	計画通り実施できたため。	369	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
18	認知症ケアバスの策定・普及	市域版認知症ケアバスの検討	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施できたため。	64	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
19	認知症疾患医療センター運営事業	運営箇所数	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所		3箇所	A	計画通り実施できたため。	10,189	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
20	認知症サポート医の養成研修及び配置	養成数 配置圏域数	3人 29圏域	3人 29圏域	3人 29圏域	3人 29圏域	12人 29圏域		8人 29圏域	A	計画通り実施できたため。 各圏域にサポート医を配置し地域の連携を図る事が重要と判断し、圏域数から評価Aとした。	50	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
21	かかりつけ医 認知症対応力向上研修	開催数 受講者数	1回 30人	1回 30人	1回 30人	1回 30人	4回 延べ受講者数120人		1回 30人	A	計画通り実施できたため。	311	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
22	認知症初期集中支援事業	検討委員会の開催 チームの活動	2回 実施	2回 実施	2回 実施	2回 実施	8回 実施		2回 実施	A	計画通り実施できたため。	4,483	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
23	認知症介護実践者等研修事業	各研修開催数 実践者研修 実践リーダー研修 開設者研修 管理者研修 計画作成担当者研修 指導者養成研修	各研修 1回	各研修 1回	各研修 1回	各研修 1回	各研修 1回		各研修 1回	A	計画通り実施した。	0	介護保険課
24	認知症施策等総合支援事業	受講者数 (累計)	1人 (12人)	1人 (13人)	1人 (14人)	1人 (15人)	4人		1人 (12人)	A	計画通り実施した。	290	介護保険課
25	認知症地域支援推進員の機能強化	連絡会の開催 新任者研修の実施 現任者研修の実施	2回 1回 1回	2回 1回 1回	2回 1回 1回	2回 1回 1回	8回 4回 4回		2回 1回 1回	A	計画通り実施できたため。	0	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
26	かけこまち七間町（認知症ケア推進センター）の運営	来場者数	5,000人	8,000人	8,000人	8,000人	29,000人		12,920人	S	来場者数は、認知症予防講座や七間町商店街との連携イベントの実施により目標を大幅に上回り、前年度比22%増となった。相談件数も前年度（412件）比8%増、認知度向上策実施前の令和3年度（161件）との比較では176%増の444件であり、周知の効果が見られる。 効果的な対策の推進にあたっては、予防から既存の医療・介護サービスの利用に至るまでの総合的な支援を行う機関として、かけこまち七間町を位置づけ、既存の支援機関との役割分担を行いながら、令和6年度に、認知症対策に係る体制の再整理を行っていく。	19,417	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
27	「認知症の人にやさしい地域づくり」モデル創出事業	モデル創出地域での実施	実施	実施	実施	モデル作成	実施		実施	A	計画どおり実施できたため。	106	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部

28	若年性認知症フォーラムの開催	若年性認知症について理解が深まった受講者の割合	80%	80%	80%	80%	80%		90%	A	計画どおり実施したため。	437	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
29	がん末期在宅介護支援事業補助	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	0	介護保険課
30	A C P の理解促進	研修会開催数	1 回	1 回	1 回	1 回	4 回		1 回	A	計画通り実施できたため。	0	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
31	かかりつけ医の総合的評価による介護予防事業	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施できたため。	265	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
32	清水区脳梗塞予防実証実験事業	隠れ心房細動の発見人数	10人	10人	10人	10人	40人		2人	C	実証実験参加者が見込を下回ったため隠れ心房細動の発見人数は目標値に達していない。 実証実験参加者を増やすため継続的に市民への周知を図る必要がある。 また、これまでは参加者全員に1週間モニタリング用機器を装着してもらっていたが、負担感を減らして参加者を増やすため、令和6年7月から、まず、AⅠを活用した心電図データによるリスク判定を行い、リスクが中・高及び希望者のみに1週間のモニタリングを行うよう手順を変更した。 その結果、令和6年4月から6月までの参加者数が70人であったのに対して、7月から9月までの参加者は2,111人（1週間モニタリングは92人）となり、参加者の増加につながっている。	31,660	保健衛生医療課
33	地域包括支援センター（まるけあ）の運営	センター設置数 職員増員数	29センター 高齢者人口増加に応じた増員	29センター 高齢者人口増加に応じた増員	29センター 高齢者人口増加に応じた増員	29センター 高齢者人口増加に応じた増員	29センター 高齢者人口増加に応じた増員		29センター 高齢者人口増加に応じた増員	A	計画通り実施できたため。	900,489	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部

再掲0

2 ＜山腹＞市民の連携による地域での支え合い体制の整備													
	（1）介護予防												
1	フレイル予防事業	固定フレイルチェック実施回数 フレイルチェック継続参加率	3会場2回 30%	4会場2回 35%	5会場2回 40%	6会場2回 45%	市内36回 45%		3会場2回 38%	A	目標どおり達成したため。	1,059	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
2	S型デイサービス（介護予防のための通いの場）の運営	参加者実人数	5,100人	5,300人	5,500人	5,700人	21,600人		4,772人	A	目標の93.5%にあたる4,772人が参加し、概ね目標どおり達成したため。	65,850	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
3	しぞ〜かでん伝体操教室	教室参加前後の効果判定の結果、維持・改善した人の割合	85%	85%	85%	85%	教室参加前後の効果判定の結果、維持・改善した人の割合85%		90%	A	地域福祉共生センターを会場に、しぞ〜かでん伝体操教室を開催し、参加者の改善、維持率の結果が計画値通りであった。引き続き、心身機能の改善維持を図るため、地域において継続的な活動につながるよう支援を行っている。	17,820	地域リハビリテーション推進センター
4	しぞ〜かでん伝体操活動グループ支援事業	新規活動グループ数 既存活動グループ数	6グループ 168グループ	6グループ 174グループ	6グループ 180グループ	6グループ 186グループ	新規活動グループ 24グループ 既存活動グループ数 186グループ	活動指標がグループ数の為、計画値の単位を箇所からグループへ修正した。	19グループ 176グループ	S	しぞ〜かでん伝体操の取組について、パンフレットの配架や体操体験等を市内各所で実施し、介護予防活動に賛同した市民や民間企業の参画により、自治会館や薬局店舗等に活動拠点が設置でき、設置数は計画値を大きく上回った。	3,159	地域リハビリテーション推進センター
5	しぞ〜かでん伝体操サポーター養成講座	サポーター登録人数	1,515人	1,575人	1,635人	1,695人	サポーター登録数 1,695人		1,542人	A	市内3区でサポーター養成講座を開催し、計画通り人材育成を実施することができた。引き続き地域で介護予防の普及活動ができる人材を育成していく。	724	地域リハビリテーション推進センター
6	地域支え合い人材養成講座（静岡ンチズンカレッジこ・こ・に）	講座開催回数	5回	5回	5回	5回	20回		5回	A	計画どおり実施できたため。	556	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部

7	口腔機能向上事業 （「歯つつつ健口講座」 「オーラルフレイル普及啓発」）	講座実施回数 講座参加人数 周知啓発	20回 400人 実施	25回 500人 実施	20回 400人 実施	20回 400人 実施	85回 1,700人 実施		22回 591人 実施	A	目標回数20回に対し22回実施し、実施率110％達成。その他、オーラルフレイルの周知啓発として、むせをテーマとしたリーフレットを作成し、地域包括支援センター、保険者等に配布をした。	59	健康づくり推進課
8	元気で長生き栄養講座	実施回数 延参加者数	14回 140人	14回 140人	14回 140人	14回 140人	56回 560人		16回 125人	A	調理体験・試食を取り入れたことで生涯学習交流館との連携が図れ、計画を上回る実施回数での開催ができた。各種イベント等でのチラシ配布やSNS等でのPR活動を行うとともに、生涯学習センターや生涯学習交流館等と連携し、参加者確保につなげたい。	90	各区健康支援課
9	介護予防ケアマネジメント研修	実施回数	1回	1回	1回	1回	4回		1回	A	計画通り実施できたため	44	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
10	元気いきいき！ シニアサポーター事業	サポーター登録者数 受入施設数	7,220人 856施設	6,400人 856施設	6,600人 856施設	6,800人 856施設	6,800人 856施設		6,203人 834施設	A	サポーター登録者数は86％だったが、受入施設数は97％であったため、2つの指標を総合的に判断してAとした。	44,328	介護保険課
11	〔再掲〕 かかりつけ医の総合的評価による 介護予防事業	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施できたため。	265	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
12	静岡型認知症・軽度認知障害 （MCI）予防プログラムの普及	プログラム参加人数	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人	16,000人		3,700人	A	概ね計画通り実施したため。	3,552	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
13	高齢者の保健事業と介護予防の 一体的な実施	①個別支援対象者への指導率 ②通いの場等での健康教育実施 会場数	①80％ ②20会場	①80％ ②20会場	①80％ ②20会場	①80％ ②20会場	①80％ ②80会場		①99.3％ ②20会場	A	①対象者144人中、143人に指導を実施 ②通いの場において計画通り20会場で健康教育を実施	959	健康づくり推進課
14	歯と口の健康週間事業 （よい歯の8020コンクール）	実施人数	30人	30人	30人	30人	120人		48人	S	目標参加者人数を上回ることができた。新型コロナウイルス感染症の影響で参加人数が一時減少したが、5類に移行し、参加人数も増えてきたこともあり、今年度は目標値を超える参加があった。	2,156	健康づくり推進課
15	（新規） 成果連動型民間委託契約方式を活用した魅力的な介護予防事業	事業の実施	—	実施	実施	実施	実施		-	-	本年度計画なし（令和6年度から開始）	-	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
16	（新規） 難聴高齢者早期発見・早期支援事業	早期発見と早期支援の取組 本事業参加者を対象とした補聴器購入費助成の試行実施	— —	20会場での開催 実施（50人程度）	20会場での開催 実施（50人程度）	R 6 の状況を踏まえ再検討 R 6 の状況を踏まえ再検討	R 6 ～R 7 年度の2年間で40会場での開催、R 8 はR 6 の状況を踏まえ再検討 R 6 ～R 7 年度は実施（100人程度）、R 8 はR 6 の状況を踏まえ再検討		-	-	本年度計画なし（令和6年度から開始）	-	高齢者福祉課

再掲

1

	（2）生活支援・見守り												
1	生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターの配置 協議体の設置	1市 3区 30圏域	1市 3区 30圏域	1市 3区 30圏域	1市 3区 30圏域	1市 3区 30圏域		1市 3区 30圏域	A	計画通り実施したため。	104,948	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
2	地域づくり会議の設置・開催	地域づくり会議の開催	76地区	76地区	76地区	76地区	76地区		23地区	C	地域づくり会議は、生活支援コーディネーターが地縁組織、市民活動団体、有識者や民間企業等から参画者を募り、地域内の情報共有や資源開発を行うために開催している。 市内どの地区においても、生活支援コーディネーターは地域での関係づくりや地域の課題の把握などに努めているが、多様な主体が参画する当該会議の開催にまで至らないケースが多かったことが、目標値未達成の要因と考えている。 地域の課題は多岐にわたることから、新共助社会構築の視点からも、会議という体制にこだわらず、話し合う場の設置や地域活動の取組が行われるなど、地域の実情に応じた柔軟な対応が行われている。 活動指標について、現在は会議開催地区数としているが、実際には会議の開催に至らずとも地域の情報共有や課題の検討を目的とした場面は各地区で存在している。 令和5年度は76すべての地区の意見交換や運営・企画会議等の場に生活支援コーディネーターが参画している。 そのため、地域の実情に密に通じている本事業の特色を踏まえた活動指標の設定に向け、再検討を進めている。		地域包括ケア・誰もが活躍推進本部

3	[再掲] 地域包括支援センター（まるけあ）の運営	センター設置数 職員増員数	29センター 高齢者人口 増加に応じ た増員	29センター 高齢者人口 増加に応じ た増員	29センター 高齢者人口 増加に応じ た増員	29センター 高齢者人口 増加に応じ た増員	29センター 高齢者人口増加に応じた 増員		29センター 高齢者人口 増加に応じ た増員	A	計画通り実施できたため。	900,489	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
4	総合相談業務	相談業務実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施できたため。		地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
5	地域包括支援センター 職員等研修事業	研修開催回数 ①地域包括ケア研修 ②地域包括支援センター 職員研修（新規配属職員研修・ 課題別研修） ③介護予防ケアマネジメント支 援研修	①1回 ②2回 ③1回	①1回 ②2回 ③1回	①1回 ②2回 ③1回	①1回 ②2回 ③1回	①4回 ②8回 ③4回		①1回 ②2回 ③1回	A	計画通り実施できたため。	688	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
6	地域包括支援センター 運営協議会の開催	運営協議会 区運営部会	3回 9回	3回 9回	3回 9回	3回 9回	12回 36回		3回 9回	A	計画通り実施できたため。	1,335	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部、各区高 齢介護課
7	民生委員・児童委員研修事業	研修会開催	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施できたため。	4,900	福祉総務課
8	成年後見制度利用促進事業	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	相談支援、広報・研修、市民後見人の養成、受任者調整会議、市民後見人養成研修（実践編）をもれなく実施したため。	23010	福祉総務課
9	成年後見制度利用支援事業	市長申立ての実施 報酬助成の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	各区にて、市長申立事務及び報酬助成事務を十分に実施したため。	①市長申立て費用… 633 ②報酬助成費用… 22,693	福祉総務課、 障害福祉企画課、 高齢者福祉課、 精神保健福祉課、 各区障害者支援課、 各区高齢介護課
10	保健委員協議会の活動支援	保健委員協議会等の活動支援回 数	180回 以上	180回 以上	180回 以上	180回 以上	720回 以上		214回	S	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、各地区保健委員会の活動が再開されたこ とで当初の目標を上回り目標値を達成できた。	—	清水区健康支援課
11	ひとり暮らし高齢者見守りネット ワークの充実	ア 見守り協定締結数（累計）	64件	66件	68件	70件	協定締結数70件		69件	S	計画を上回り実施できたため。	0	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部（ア、 イ）、高齢者福祉課 （ウ）
	ア 高齢者見守りネットワーク 推進事業の協力に関する 協定	イ 徘徊認知症高齢者見守りシステ ム（しずメール）新規登録者数	250人	250人	250人	250人	新規登録者1,000人		3,317人	S	計画を上回り実施できたため。	802	
	イ 認知症高齢者見守り システム（しずメール） ウ 民生委員による 高齢者実態調査の実施	ウ 調査実施件数	50,000件	50,000件	50,000件	50,000件	200,000件		53,065件	A	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮して、令和3、4年度は例年4 月から6月に行っている調査時期を、6月から8月にずらして実施した。令 和5年度は、令和6年度から調査時期をコロナ禍前の4月開始に戻すことを 見据え、5月から7月にかけて実施し、民生委員による訪問調査実施件数が 概ね計画どおりの実績となったため。	1,313	
12	ひとり暮らし高齢者等 緊急通報体制整備事業	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	通報があったケースについて、確実に対応したため。	16,633	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
13	配食型見守り事業	延見守り回数	188,600回	188,600回	188,600回	188,600回	延見守り回数 754,400回		203,642回	S	見込人数を超えて目標を達成したため。	58,085	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
14	認知症カフェ運営支援 （認証、助成）	日常生活圏域に1箇所以上の開 設	16圏域	17圏域	18圏域	19圏域	19圏域		19圏域	A	計画どおりに実施したため。	0	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部

15	認知症サポーター養成事業	開催数 養成数 サポーター数（累計）	110回 5,400人 70,700人	110回 5,400人 76,100人	110回 5,400人 81,500人	110回 5,400人 86,900人	440回 21,600人 86,900人		97回 2,744人 68,080人	C	コロナ禍前に設定された国の目標を達成するために必要な養成者数を目標に設定しているが、令和５年度のコロナ５類移行後も地域の活動の活発さはコロナ前の水準には戻らず、令和４年度と比べて養成者数は増加したものの、目標未達成となった。 自分の身の回りで参加している人からの情報提供の機会が減少したことが要因と考えてる。 一方で、コロナ５類移行後、若年層の参加が増加傾向となっており、関心の高さがうかがえることから、若年層に向けた養成をさらに強化するとともに、今後は、これまでに受講歴がない、銀行やスーパーなどの地域住民に近いサービスを提供する企業などの大口の団体を中心に広報活動にも取り組む。	1,059	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
16	高齢者の消費者被害防止のための見守りネットワーク	通報や見守り依頼 地域包括支援センター等への注意喚起情報、啓発チラシ等の提供	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	ケアマネジャーなどとの間で、随時、消費生活相談や見守りへ繋げた。 見守りの依頼、消費生活や防犯に関する注意喚起に関する情報提供などを地域包括支援センター等へ定期又は随時に実施した。	0	生活安全安心課
17	委託検針員による高齢者等見守り支援	通報実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施したため。	0	お客様サービス課
18	家族介護慰労金支給事業	支給実施 （支給見込人数）	実施 （３人程度）	実施 （３人程度）	実施 （３人程度）	実施 （３人程度）	実施 （12人程度）		実施 （５人）	A	支給要件を満たす対象者に対して確実に支給できたため。	500	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
19	家族介護者支援事業	交流会・学習会等の開催数 延参加者数	15回 385人	15回 385人	15回 385人	15回 385人	60回 1,540人		18回 327人	A	開催回数は120%だったが、参加延べ人数は85%であったため、２つの指標を総合的に判断してAとした。	1,000	介護保険課
20	理容・美容サービス事業	実施 （利用者数）	実施 （300人）	実施 （300人）	実施 （300人）	実施 （300人）	実施 （1200人）		実施 （381人）	A	計画どおり目標を達成したため。	1,175	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
21	はり・きゅう・マッサージ 施術費助成制度	交付者数	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人	10,000人		2,575人	A	概ね計画どおり目標を達成したため。	8,281	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
22	高齢者紙おむつ支給事業	適切な支給の実施 （支給見込人数）	実施 （1,600人）	実施 （1,600人）	実施 （1,600人）	実施 （1,600人）	実施 （延6,000人程度）		実施 （1,769人）	A	計画どおり利用者に対して確実に支給したため。	71,546	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
23	高齢者生活支援ショートステイ事業	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施 （71人）	A	支援対象となる高齢者を確実に支援できたため。	24,874	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
24	福祉有償運送の登録支援	支援の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	事業を検討する団体等に対し、制度の趣旨、登録の要件、必要な手続きを説明するなど計画通り実施している。	-	福祉総務課
25	高齢者生活福祉センターの運営	利用者満足度	90%	90%	90%	90%	90%		99%	S	実績が計画を上回ったため。	49,156	高齢者福祉課
26	シルバーハウジング 生活援助員派遣事業	事業の実施（戸数）	実施 （59戸）	実施 （59戸）	実施 （59戸）	実施 （59戸）	実施 （延236戸）		59戸	A	計画どおり目標を達成したため。	11,518	高齢者福祉課
27	不燃・粗大ごみのふれあい収集事業	実施件数	1,100件	1,100件	1,100件	1,100件	4,400件		1,619件	S	計画に対して47%増となった。	－	収集業務課
28	避難行動要支援者避難支援事業	各地域への避難行動 要支援者に係る名簿配布率	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	計画どおり、各地域へ避難行動要支援者に係る名簿を配布したため。	4,412	福祉総務課
29	（障がい者） 地域生活支援ネットワーク コーディネーター配置業務	①コーディネーターの配置 ②講座実施回数	①２名配置 ②２回	①２名配置 ②２回	①２名配置 ②２回	①２名配置 ②２回	①２名配置 ②８回		①２名配置 ②２回	A	計画通り実施したため。	6,958	障害福祉企画課
30	障害者自立支援協議会	開催数	４回	２回	２回	４回	１２回		４回	A	計画通り実施したため。	210	障害福祉企画課、 精神保健福祉課

31	外国人高齢者福祉手当支給制度	適切な支給の実施 （支給見込人数）	実施 （3人）	実施 （3人）	実施 （3人）	実施 （3人）	実施 （延12人）		実施 （5人）	A	申請に基づき適切に給付を実施したため。	462	高齢者福祉課
32	高齢者虐待防止策の推進	運営委員会開催数	2回	2回	2回	2回	8回		2回	A	計画通り実施したため	173	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
	ア 高齢者虐待防止 ネットワーク運営委員会	広報紙特集記事掲載回数 啓発パンフレット配布数	1回 3,000部	1回 3,000部	1回 3,000部	1回 3,000部	4回 12,000部		1回 3,000部	A	計画通り実施したため	136	
	イ 高齢者虐待防止 普及啓発の推進	研修会開催数	2回	2回	2回	2回	8回		5回	A	計画通り実施したため	45	
33	高齢者虐待対応事例 検証ケア会議の開催	開催数	各区 2回	各区 2回	各区 2回	各区 2回	各区 8回		各区 2回	A	計画通り実施したため	61	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部、各区高齢介護課
34	高齢者虐待防止・対応マニュアル の改訂、対応マニュアルに即した 対応	養護者による高齢者虐待防止・ 対応マニュアルに 則した対応	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施したため	0	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
35	高齢者一時保護施設確保事業	ベッド数	2床	2床	2床	2床	2床/年		2床	A	計画通り実施したため	3,286	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
36	高齢者虐待対応ケア会議の開催	会議の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施したため	0	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部、各区高齢介護課
37	再犯防止推進事業	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画どおり実施することができたため。 付添い支援：3件、伴走型支援：6件、市民講座：連続講座全7回	1,408	福祉総務課
38	自主防災活動支援事業	実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	ニーズを的確に把握し必要な支援を継続的に行うことで、地域防災力の向上に繋がったため。	53,575	危機管理課
39	静岡型MaaS基幹事業 実証プロジェクト推進事業	MaaS活用検討会議の実施	実施	－	内容の検討	内容の検討	実施		実施	A	計画通り実施したため。	15,314	交通政策課
40	地域交通弱者対策事業	出前講座等の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施したため。	5,011	交通政策課
41	NET119普及促進事業	普及促進活動	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	関係団体等からのNET119に係る問い合わせに適切に対応するとともに、「静岡市NET119緊急通報システム説明会」を開催し、NET119の普及促進を実施することができたため。	3300	指令課
42	応急手当普及啓発促進事業	受講者数	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人	80,000人		23772人	S	コロナ渦が明け受講者数が順調に伸び実施率が118%となった。	5,040	救急課
43	若年性認知症本人交流会の開催	本人交流会の開催	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施したため。	0	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
44	高齢者の終活支援の実施	支援の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施できたため。	175	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
45	見守り訪問活動	対象者満足度	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	計画どおり実施できた。	0	井川支所

46	暮らし続けることができるオクシズ構築支援事業	自治会等への買い物支援実施回数 健康支援員による健康相談イベント実施回数	30回 －	60回 6回	60回 6回	60回 6回	年60回の実施 年6回の開催	具体的な取り組み内容に基づき、指標を明確なものに変更した。	46回	S	計画を上回る回数を実施することができたため。	6,475	中山間地振興課
47	認知症バリアフリー推進事業	チームオレンジ新規立ち上げチーム数 認知症地域支え合いプログラム企画地区数 認知症地域支え合いプログラム実施地区数	3チーム 3地区 2地区	3チーム 2地区 3地区	3チーム 3地区 2地区	3チーム 2地区 3地区	12チーム 10地区 10地区		3チーム 3地区 2地区	A	計画通りに実施できたため。	109	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部

再掲

1

	(3) 生きがい・社会活動												
1	〔再掲〕 元気いきいき！ シニアサポーター事業	サポーター登録者数 受入施設数	7,220人 856施設	6,400人 856施設	6,600人 856施設	6,800人 856施設	6,800人 856施設		6,203人 834施設	A	サポーター登録者数は86%だったが、受入施設数は97%であったため、2つの指標を総合的に判断してAとした。	44,328	介護保険課
2	〔再掲〕 生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターの配置 協議体の設置	1市 3区 30圏域	1市 3区 30圏域	1市 3区 30圏域	1市 3区 30圏域	1市 3区 30圏域		1市 3区 30圏域	A	計画通り実施したため。	104,948	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
3	誰もが「生涯活躍のまち」の推進	地域交流拠点連携事業数	75件	75件	関係機関による継続実施	関係機関による継続実施	関係機関による継続実施		83件	S	計画を上回る件数を実施することができたため。	16,439	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
4	しずおかハッピーシニアライフ事業	「新たな社会活動に参加してみたい」とアンケートに回答した参加者の割合	80%	80%	80%	80%	80%		97.6%	A	計画通り目標を達成したため	607	高齢者福祉課
5	シニアクラブ運営支援	会員数	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人		10,759	A	概ね計画通り目標を達成したため	45,690	高齢者福祉課
6	老人つどいの家の設置・運営補助（葵区・駿河区）	申請団体に対する適正な支給	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	支給要件を満たす申請団体全てに対して確実に支給できたため。	7,263	高齢者福祉課
7	高齢者生きがいセンターの設置補助（清水区（由比・蒲原除く））	申請団体に対する適正な支給	実施 100%	実施 100%	実施 100%	実施 100%	実施 100%		100%	A	支給要件を満たす申請団体全てに対して確実に支給できたため。	2,747	高齢者福祉課
8	高齢者社会参加促進事業（清水区（由比・蒲原除く））	団体数	19団体	19団体	19団体	19団体	19団体		15団体	B	申請があった団体に対し適切に補助金を交付したものの、目標より下回ったため。申請団体を事前に把握することはできないが、支給要件を満たし申請のあった地区については、引き続き適正に支給する。	1,028	高齢者福祉課
9	シルバー人材センターの運営支援	会員数 就業実人数	2,810人 2,280人	2,810人 2,280人	2,810人 2,280人	2,810人 2,280人	2,810人 2,280人		2,754人 2,116人	A	概ね計画通り目標を達成したため	76,458	高齢者福祉課
10	私立こども園・保育所等給付（60歳以上の方を雇用した場合の高齢者等活躍促進加算）	対象園に対する加算の適用	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施することができた。	18,018,345	幼保支援課
11	生涯現役地域づくり環境整備事業	①窓口相談件数 ②高齢求職者の雇用・就業数	①900件 ②280人	①900件 ②280人	関係機関による継続実施	関係機関による継続実施	関係機関による継続実施		①1,516件 ②592人	S	計画を上回る件数、人数を実施することができたため	15,500	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
12	ねんりんピック選手派遣	代表選手団派遣の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	概ね計画どおり、派遣を実施することができたため。	13,115	高齢者福祉課
13	敬老事業	補助金対象者数	83,000人	85,000人	84,500人	85,000人	337,500人		77,800人	A	概ね計画どおり目標を達成したため。	262,924	高齢者福祉課、 各区高齢介護課

14	老人福祉センターの運営	利用者満足度	90%	90%	90%	90%	90%		97.7%	A	計画通り目標を達成したため	247,433	高齢者福祉課
15	老人憩の家の運営	利用者満足度	90%	90%	90%	90%	90%		99.2%	A	計画通り目標を達成したため	22,556	高齢者福祉課
16	世代間交流センターの運営	利用者満足度	90%	90%	90%	90%	90%		98.6%	A	計画通り目標を達成したため	58,710	高齢者福祉課
17	シルバーカード交付	交付枚数	350枚	350枚	350枚	350枚	1400枚		418枚	S	見込み配布数を超えて目標を達成したため。 なお、年齢を確認できる身分証明書で市の施設を無料又は割引料金で利用することは可能であることから、今後、代替手段の確保などを含め、その必要性を検討していく。	18	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
18	高齢者学級	学級数	36学級	36学級	36学級	36学級	4年間継続して36学級実施		36学級	A	計画通り36学級実施した。	指定管理料の一部	生涯学習推進課
19	〔再掲〕 S型デイサービス（介護予防のための通いの場）の運営	参加者実人数	5,100人	5,300人	5,500人	5,700人	21,600人		4,772人	A	目標の93.5%にあたる4,772人が参加し、概ね目標どおり達成したため。	65,850	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
20	〔再掲〕 かけこまち七間町（認知症ケア推進センター）の運営	来場者数	5,000人	8,000人	8,000人	8,000人	29,000人		12,920人	S	来場者数は、認知症予防講座や七間町商店街との連携イベントの実施により目標を大幅に上回り、前年度比22%増となった。相談件数も前年度（412件）比8%増、認知度向上策実施前の令和3年度（161件）との比較では176%増の444件であり、周知の効果が見られる。 効果的な対策の推進にあたっては、予防から既存の医療・介護サービスの利用に至るまでの総合的な支援を行う機関として、かけこまち七間町を位置づけ、既存の支援機関との役割分担を行いながら、令和6年度に、認知症対策に係る体制の再整理を行っていく。	19,417	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
21	〔再掲〕 「認知症の人にやさしい地域づくり」モデル創出事業	モデル創出地域での実施	実施	実施	実施	モデル作成	実施		実施	A	計画どおりに実施したため。	106	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部

再掲

5

	（４）住まい												
1	サービス付き高齢者向け住宅 供給の促進	供給促進の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	令和5年度、新たに2棟27戸登録し、供給促進に努めた。 登録総数37戸1247戸	0	住宅政策課
2	高齢者向け優良賃貸住宅 供給の促進	家賃補助の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	令和6年3月末までに認定している住宅戸数の9割以上（283戸）に家賃補助を実施した。	0	住宅政策課
3	あんしん住まい助成制度	補助の実施	実施	実施	実施 R6の状況を 踏まえ再 検討	実施 R6の状況を 踏まえ再 検討	実施		実施	A	適切な補助金の支給を行うことができた。	3,575	高齢者福祉課
4	家賃債務保証制度の普及促進	広報活動数	2回	2回	2回	2回	2回		2回	A	市ホームページと市広報誌3月号に掲載し、市民への周知を行った。	0	住宅政策課
5	市営住宅への入居支援	優遇措置の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	高齢者等の市営住宅等への入居機会を拡大を図る優遇措置を実施した。	0	住宅政策課
6	特別養護老人ホームの整備	整備床数（着工ベース） 整備床数（指定ベース） 開設総床数（指定ベース）	0床 0床 3,551床	0床 0床 3,551床	0床 0床 3,551床	0床 0床 3,551床	0床 0床 3,551床		0床 0床 3,551床	A	計画どおり目標を達成したため。	0	高齢者福祉課
7	特別養護老人ホームの 入所状況の公表	情報更新回数	月1回 （年12回）	月1回 （年12回）	月1回 （年12回）	月1回 （年12回）	月1回 （年12回）		月1回 （年12回）	A	計画どおり目標を達成したため。	0	高齢者福祉課
8	養護老人ホームの運営	入所者満足度	85%	85%	85%	85%	85%		95%	A	入所者満足度が目標達成したため	357,735	高齢者福祉課
9	軽費老人ホームの運営支援	補助の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	適正に補助金を交付できたため。	213,999	高齢者福祉課

10	福祉用具・住宅改修支援事業	相談件数 福祉用具展示	220件 320点	220件 330点	220件 330点	220件 330点	相談件数880件 展示品数330点		126件 328点	B	相談件数は計画値を下回ったが、複合的な課題を有する困難な相談に対して、リハビリ専門職が専門的な助言や関係機関と連携した支援を行うことで課題解決につなげた。また、福祉用具普及連絡会を通じて福祉用具の展示の見直しや企業との連携を行った。	275	地域リハビリテーション推進センター
11	家具等固定推進事業	補助件数	15件	10件	10件	10件	45件		5 件	C	予想される大規模地震に備え、家具等の移動・転倒による圧死や負傷の被害を防ぐため、耐震補強工事と併せて推進してきた事業であるが、ある程度、普及が進んできたことから、申請件数が減少している。今後は、事業継続の可否及び担当部署を含め、見直しを検討していく。	58	建築安全推進課
12	高齢者福祉施設等の消防訓練の指導及び実施	高齢者福祉施設への指導件数	50件	50件	50件	50件	200件		42施設	B	施設からの依頼を受け、管轄消防署が実施している。施設の方へ消防訓練の指導を行っていることを周知するため、SNS等で広報活動を行う。	-	予防課
13	住宅用火災警報器取付・交換支援事業（旧：住宅用火災警報器取付支援事業）	支援件数	5 件	5 件	5 件	5 件	20件		3 件	B	取付支援を行っていることを広く周知してもらうため、各種イベントでの広報活動を継続して行いSNSも使用し周知する。	-	予防課
14	〔再掲〕 シルバーハウジング生活援助員派遣事業	利用戸数	実施 (59戸)	実施 (59戸)	実施 (59戸)	実施 (59戸)	実施 (延236戸)		59戸	A	計画どおり目標を達成したため。	11,518	高齢者福祉課
15	中山間地における生活用水の安定供給事業	補助の実施	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	当初予定していたもののほか、水量が不足している施設の井戸掘削等の施設整備に対応するため、補正予算を組み、全ての補助申請に対して交付決定を行い、中山間地域での安心・安全な生活用水の確保を図ることができた。	60,955	保健衛生医療課

再掲

1

3 ＜裾野＞市民の自主的な健康長寿・誰もが活躍の取組の促進													
（１）見える化													
1	〔再掲〕 フレイル予防事業	固定フレイルチェック実施回数 フレイルチェック継続参加率	3会場2回 30%	4会場2回 35%	5会場2回 40%	6会場2回 45%	市内36回 45%		3会場2回 38%	A	計画どおりに実施したため。	1,059	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
2	〔再掲〕 民生委員による 高齢者実態調査の実施	調査実施件数 （75歳以上）	50,000件	50,000件	50,000件	50,000件	200,000件		53,065件	A	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮して、令和3、4年度は例年4月から6月に行っている調査時期を、6月から8月にずらして実施した。令和5年度は、令和6年度から調査時期をコロナ禍前の4月開始に戻すことを見据え、5月から7月にかけて実施し、民生委員による訪問調査実施件数が概ね計画どおりの実績となったため。	1,313	高齢者福祉課
3	健康まつり・地区まつり	実施回数 延参加者数	25回以上	25回以上	25回以上	25回以上	100回以上		28回	S	新型コロナ感染症が5類に移行し、各地区でのまつりが再開されたことで当初の目標を上回り目標値を達成できた。	2620千円の一部	各区健康支援課
4	健康教育	実施回数	79回	79回	79回	79回	316回		109回	S	新型コロナ感染症が5類に移行し、地域での健康教育が行えるようになったことで当初の目標を上回り目標値を達成できた。	2620千円の一部	健康づくり推進課、 各区健康支援課
5	健康相談	延参加者数	473人	473人	473人	473人	1,892人		521人	S	新型コロナ感染症が5類に移行し、積極的に事業を実施することができ、その結果、目標値を上回った。	2620千円の一部	健康づくり推進課、 各区健康支援課
6	訪問指導	延指導人数	1,300人	1,000人	1,000人	1,000人	4,300人	今後訪問対象者の減少が見込まれており、令和5年度の実績をふまえた目標設定にした。	929人	B	訪問での指導件数が減少した理由として、コロナ禍以降も感染防止に配慮した面接や電話等の支援（指導）を継続したこと、また、山間地域では、地域包括支援センターなど高齢者支援拠点での活動に対象者が参加し、訪問時、不在の多かったことが考えられる。 対象者の生活状況は、一人ひとり異なることから、今後も、必要に応じて、面接や電話などを組み合わせ、対象者に寄り添った訪問指導を実施する。	－	健康づくり推進課、 各区健康支援課
7	各種がん検診・その他の検診	大腸がん検診 受診率 (40歳～69歳の男女)	24.4%	前年度比増	前年度比増	27%	27%		24.7%	A	受診率24.4%に対し24.7%達成した。	657,492	健康づくり推進課
8	歯周病検診	歯周病検診受診者数 （40歳以上） 令和元年度1,450人	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増		1,521人	A	受診者数は前年度からは減少したが、基準値よりは増加している。	9,083	健康づくり推進課

9	静岡市国保特定健康診査・ 特定保健指導の実施と 実施率向上対策事業	特定健康診査受診率 特定保健指導率	36.5% 34.6%	34.2% 27.5%	35.5% 29.0%	36.8% 30.5%	36.8% 30.5%		特定健康診 査受診率 34.5% 特定保健指 導実施率 16.5% (R6.5月末 時点) ※令和6年11 月に令和5年 度の法定報 告値が確定 する。	A	令和6年11月に法定報告値が確定するため、直近の令和6年5月末時点で前 年度同時期（32.3%）と比較したところ、実施率は向上しており概ね計画ど おりの進捗である。 特定保健指導は実績評価まで3か月以上が必要であるため現状では実施率は 低い状況にある。また、新型コロナウイルスにより対面指導が難しく、特定 保健指導率は低下したが、令和4年度同時期（14.4%）より高くなってい る。	405,171	健康づくり推進課
10	静岡市国保特定健診及び 健康診査受診勧奨値保有者に 対する保健指導事業	保健指導実施率	90%	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上		100%	A	目標実施率98%以上に対し実施率100%達成	861	健康づくり推進課
11	静岡市国保重複頻回受診者 訪問指導事業	訪問等保健指導者数	50人	50人	50人	50人	200人		51人	A	目標実施者50名に対し51名実施。実施率102%達成	35	健康づくり推進課
12	糖尿病性腎症重症化予防事業 (静岡市国保)	保健指導実施率	90%以上	98%以上	98%以上	98%以上	98%以上		99.6%	A	目標実施率90%以上に対し実施率99.6%達成	1,285	健康づくり推進課
13	受動喫煙防止対策	公共施設の禁煙・分煙実施施設 割合 喫煙可能室等設置届出件数	100% 前年度比増	100% 前年度比増	100% 前年度比増	100% 前年度比増	100% 前年度比増		100% 719件	A	飲食店からの届出がなかったため、計画値の前年度比増には至らなかった。 一方、公共施設の禁煙・分煙調査は、市が管理する全ての施設において、禁 煙もしくは分煙の取組がなされたため計画どおり実施できた。	－	健康づくり推進課
14	タバコ対策促進事業	実施回数 啓発チラシ配布数	3回 2,000部	3回 2,000部	3回 2,000部	3回 2,000部	12回 8,000部		4回 2,000部	A	計画していた啓発に加え、企業からの依頼に基づくタバコ講演会を実施し た。	273	健康づくり推進課
15	禁煙支援事業	禁煙治療補助申請者数	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増		申請46件 達成23件	A	令和4年度は、申請19件のうち達成は9件であった 令和5年度は前年度実績を上回ったため、A評価とした	286	健康づくり推進課
16	食育普及啓発事業	普及啓発回数	16回	16回	16回	16回	64回		16回	A	SNS等を利用した食に関する情報発信を10回、庁舎内での展示4回、静岡伊 勢丹ウェルネスパークで食育の日に栄養相談等を2回行った。	13	健康づくり推進課
17	肝炎ウイルス検査事業	陽性者の受診勧奨率	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	対象者に対し、100%受診勧奨することができた。	23156	健康づくり推進課 感染症対策課（R5まで
18	〔再掲〕 高齢者の保健事業と介護予防の 一体的な実施	①個別支援対象者への指導率 ②通いの場等での健康教育実施 会場数	①80% ②20会場	①80% ②20会場	①80% ②20会場	①80% ②20会場	①80% ②80会場		①99.3% ②20会場	A	①対象者144人中、143人に指導を実施 ②通いの場において計画通り20会場で健康教育を実施	959	健康づくり推進課
19	〔再掲〕 静岡型認知症・軽度認知障害 (MCI) 予防プログラムの普及	プログラム参加人数	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人	16,000人		3,700人	A	計画どおりに実施したため。	3,552	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
20	(新規) 糖尿病発症予防支援事業	導入企業・保険者数	－	2者	3者	3者	8者		-	-	本年度計画なし	-	健康づくり推進課
21	(新規) 精神科医による精神保健定例相談	過去3年間の開催回数実績の平 均値	30回	30回	30回	30回	120回		19	C	年間枠に対する開催数は52.8%と目標を下回った。特に駿河区、清水区での 相談予約が少なかった。例年、広報と精神保健福祉のしおり、各区障害者支 援課で事業について周知していたが予約数が延びなかったことから、令和6 年度は、さらなる事業周知のために例年の周知に加え、障害分野以外も対象 とし、各区の福祉事務所に周知を広げた。潜在的な相談対象者もあり、ニー ズもあることから、相談会のチラシを新たに作成し、年度当初に関係課・関 係機関に配布し、毎回の相談会の予約が埋まるように取り組みを行ってい く。	672	精神保健福祉課

	(2) 知〔就労・社会参加〕												
1	〔再掲〕 元気いきいき！ シニアサポーター事業	サポーター登録者数 受入施設数	7,220人 856施設	6,400人 856施設	6,600人 856施設	6,800人 856施設	6,800人 856施設		6,203人 834施設	A	サポーター登録者数は86%だったが、受入施設数は97%であったため、2つの指標を総合的に判断してAとした。	44,328	介護保険課
2	市民大学リレー講座	大学リレー講座の 実施回数	6回	6回	6回	6回	24回実施		6回	A	計画通り全6回実施した。	296	生涯学習推進課
3	「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」によるシチズンシップに 富んだ人材の養成	登載講座数	31講座	33講座	35講座	37講座	登載講座数37講座		31講座	A	新しい講座を取り入れ、前年度よりも多い31講座を計画通り実施した。	2,219	生涯学習推進課
4	人材養成塾「地域デザインカレッジ」 (静岡シチズンカレッジ こ・こ・に)	講座実施回数	5回	5回	5回	5回	20回実施		5回	A	地縁団体の役員等を対象とした地域デザインカレッジを開催し、11名が受講した。	3,378	生涯学習推進課
5	〔再掲〕 地域支え合い人材養成講座 (静岡シチズンカレッジ こ・こ・に)	講座開催回数	5回	5回	5回	5回	20回		5回	A	計画どおり実施できたため。	556	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
6	アイボランティア入門講座 (静岡シチズンカレッジ こ・こ・に)	講座実施回数	7回	7回	7回	7回	28回		7回	A	計画通り実施したため。	165	障害福祉企画課
7	食育ボランティア人材養成講座 (静岡シチズンカレッジ こ・こ・に)	講座実施回数	9回	9回	9回	9回	36回		9回	A	初年度であったが、定員30人を満たし、27人が修了(3人は自己都合により辞退)し、計画通り実施することができた。	277	健康づくり推進課
8	ヘルシー食deブランディング飲 食関係者向け専門講座 (静岡シチズンカレッジ こ・こ・に)	講座実施回数	5回	5回	5回	5回	20回		8回	A	初年度であったが、定員5店舗を満たし、「腸活」をテーマにしたレシピを考案することができた。	990	健康づくり推進課
9	こころのバリアフリープロモ ーター育成講座 (静岡シチズンカレッジ こ・こ・に)	講座実施回数	5回	5回	5回	5回	20回		5回	A	計画通り実施した	162	こころの健康センター
10	女性のための支援者養成講座 (静岡シチズンカレッジ こ・こ・に)	女性のための支援者養成講座の 開催回数	5回	(交流会)	－	－	5回		5回	A	計画通り実施したため	1,593	男女共同参画・人権政 策課
11	静岡市お茶の学校 (静岡シチズンカレッジ こ・こ・に)	講座実施回数	7回	7回	7回	7回	28回		7回	A	計画どおり実施したため。	200	農業政策課
12	〔再掲〕 シルバー人材センターの 運営支援	会員数 就業実人数	2,810人 2,280人	2,810人 2,280人	2,810人 2,280人	2,810人 2,280人	2,810人 2,280人		2,754人 2,116人	A	概ね計画通り目標を達成したため	76,458	高齢者福祉課
13	〔再掲〕 私立こども園・保育所等給付 (60歳以上の方を雇用した 場合の高齢者等活躍促進加算)	対象園に対する 加算の適用	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施することができた。	18,018,345	幼保支援課
14	〔再掲〕 誰もが「生涯活躍のまち」の推進	地域交流拠点連携事業数	75件	75件	関係機関に よる継続実 施	関係機関に よる継続実 施	関係機関による継続実施		83件	S	計画を上回る件数を実施することができたため。	16,439	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
15	〔再掲〕 しずおかハッピーシニアライフ事 業	「新たな社会活動に参加してみ たい」とアンケートに回答した 参加者の割合	80%	80%	80%	80%	80%		97.6%	A	計画通り目標を達成したため	607	高齢者福祉課
16	〔再掲〕 生涯現役地域づくり環境整備事業	①窓口相談件数 ②高齢求職者の雇用・就業数	①900件 ②280人	①900件 ②280人	関係機関に よる継続実 施	関係機関に よる継続実 施	関係機関による継続実施		①1,516件 ②592人	S	計画を上回る件数、人数を実施することができたため	15,500	地域包括ケア・誰もが 活躍推進本部
17	〔再掲〕 シニアクラブ運営支援	会員数	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人		10,759	A	概ね計画通り目標を達成したため	45,690	高齢者福祉課

18	〔再掲〕 ねんりんピック選手派遣	代表選手団派遣の実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	概ね計画どおり、派遣を実施することができたため。	13,116	高齢者福祉課
19	〔再掲〕 敬老事業	補助金対象者数	83,000人	85,000人	84,500人	85,000人	337,500人	77,800人	A	概ね計画どおり目標を達成したため。	262,924	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
20	〔再掲〕 老人福祉センターの運営	利用者満足度	90%	90%	90%	90%	90%	97.7%	A	計画通り目標を達成したため	247,433	高齢者福祉課
21	〔再掲〕 老人憩の家の運営	利用者満足度	90%	90%	90%	90%	90%	99.2%	A	計画通り目標を達成したため	22,556	高齢者福祉課
22	〔再掲〕 世代間交流センターの運営	利用者満足度	90%	90%	90%	90%	90%	98.6%	A	計画通り目標を達成したため	58,710	高齢者福祉課
23	〔再掲〕 老人つどいの家の設置・運営 補助（葵区・駿河区）	申請団体に対する適正な支給	100%	100%	100%	100%	100%	100%	A	支給要件を満たす申請団体全てに対して確実に支給できたため。	7,263	高齢者福祉課
24	〔再掲〕 高齢者生きがいセンターの設置 補助 （清水区（由比・蒲原除く））	申請団体に対する適正な支給	実施 100%	実施 100%	実施 100%	実施 100%	実施 100%	100%	A	支給要件を満たす申請団体全てに対して確実に支給できたため。	2,748	高齢者福祉課
25	〔再掲〕 高齢者社会参加促進事業 （清水区（由比・蒲原除く））	団体数	19団体	19団体	19団体	19団体	19団体	15団体	B	申請があった団体に対し適切に補助金を交付したものの、目標より下回ったため。申請団体を事前に把握することはできないが、支給要件を満たし申請のあった地区については、引き続き適正に支給する。	1,028	高齢者福祉課
26	市民活動センターの運営管理	市民活動センター新規登録団体数	33団体	33団体	33団体	33団体	R5～R8 平均33団体	52団体	S	計画を105%以上上回る結果だったため。	62,803	市民自治推進課
27	市民活動団体との協働の促進	市と市民活動団体との協働事業数	266事業	269事業	272事業	275事業	275事業	282事業	S	計画を105%以上上回る結果だったため。	2,002	市民自治推進課
28	清流クリーン作戦 河川環境アドプトプログラム	河川環境アドプトプログラム 登録団体の活動回数	65回	70回	75回	80回	年度毎に活動回数を増やしていき、R8年度時点の河川環境アドプトプログラム登録団体の活動回数が80回以上を達成する。	50回	B	活動実績が90%を下回っているため。 令和4年度の台風15号の影響もあり、活動を実施できていなかった団体もある。令和6年度以降は、河川環境アドプトプログラムについて広く周知するとともに、活動を停止していた団体の活動回数増加を促していく。	96,000円	環境共生課
29	地域学校協働活動推進事業	①地域の子どもは学校だけでなく、地域住民も主体的に関わり育てていくものとする地域住民の割合 ②放課後子ども教室参加児童満足度	①85% ②100%	①90% ②100%	①95% ②100%	①100% ②100%	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行ったと答えた学校の割合が100%	①98.9% ②92.1%	A	コミュニティ・スクールの導入と地域学校協働活動の実施を一体的に推進することにより、延べ約19万にも上るボランティアが市内小中学校で活動を行い、学習活動や支援活動の充実などの教育的効果が見られた。統括的な推進員と地域学校協働活動推進員による支援活動や、おたより・リーフレット等による事例紹介・情報提供により、各学校、地域の実情に応じた学校支援活動の推進や放課後子ども教室を実施することができた。	89,196	教育総務課
30	〔再掲〕 シルバーカード交付	交付枚数	350枚	350枚	350枚	350枚	1400枚	418枚	S	見込み配布数を超過して目標を達成したため。 なお、年齢を確認できる身分証明書で市の施設を無料又は割引料金で利用することは可能であることから、今後、代替手段の確保などを含め、その必要性を検討していく。	18	高齢者福祉課、 各区高齢介護課
31	〔再掲〕 高齢者学級	学級数	36学級	36学級	36学級	36学級	4年間継続して36学級実施	実施	A	計画通り36学級実施した。	指定管理料の一部	生涯学習推進課
32	清水病院市民健康講座	実施回数	3回	3回	3回	3回	12回	0回	C	病院内でクラスターが発生することにより、病院職員が感染対策に追われ、市民健康講座の開催が難しかったが、今年度は病院内の感染防止対策を実施し、院内外を含めた市民健康講座の開催に努める。	0	清水病院事務局 病院経営企画課
33	清水病院出前講座	実施回数	15回	15回	15回	15回	60回	19回	S	感染予防対策を徹底したうえで積極的に講座を開催し、目標を上回る実施回数となった。	0	清水病院事務局 病院経営企画課

34	地域防災訓練への参加促進	参加人数	65,000人	65,000人	65,000人	65,000人	260,000人		90,130	A	目標設定時は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための強い行動制限が求められており、訓練内容や参加者を制限して実施することを前提に目標値を設定したが、訓練実施時には新型コロナウイルス感染症の位置づけが５類感染症に移行し、行動制限が緩和されたため、訓練参加者数は目標値を大幅に上回ったが、状況変化による影響が大きいかを考慮し、A評価とした。	1,195	危機管理課 各区地域総務課
35	防災出前講座の開催	実施回数	150回	150回	150回	150回	600回		128	B	目標値は達成できなかったが、防災に関する必要な情報を市民に周知啓発できたことで地域団体等の防災意識高揚に繋がったため。今後は、申し込み数が増加するような効果的な広報の方法を検討していく。	350	危機管理課 各区地域総務課
36	まちは劇場コンサート事業	来場者数 ①まちかどコンサート ②H o t ひといきコンサート	①3,700人 ②750人	①3,800人 ②750人	①4,000人 ②750人	①4,200人 ②750人	①15,700人 ②3,000人		①4,089人 ②866人	S	新型コロナウイルス感染症の５類移行と、SNS等による情報発信の強化により、来場者数が増加し、計画を上回った。	8,737	まちは劇場推進課
37	静岡市民文化祭企画運営業務	静岡市民文化祭来場者数	10,000人	13,000人	未定	未定	未定		12,524人	S	市民の文化活動の発表の場として、多くの来場者を迎え市民における文化活動の促進と向上に資することができた。また、昨年度と比較し実施事業も３事業増え、出品者の増加も図ることができた。	3,520	文化振興課
38	文化団体運営費補助金	静岡市芸術祭来場者数	7,000人	13,000人	未定	未定	未定		16,278人	S	目標値を大きく上回る実績において、事業を終了することができた。静岡市文化協会会員による作品や演奏を鑑賞する機会を通して、市民に質の高い文化に触れる機会を提供することができた。	15,958	文化振興課
39	駿府城跡天守台発掘調査見える化事業	発掘現場見学者数	100,000人	100,000人	－	－	200,000人		202,762	S	昨年度の２倍の数値となったため。	11,781	歴史文化課
40	フレイルサポーターの養成	新規サポーター養成・ステップアップ講座の開催	２回	１回	２回	１回	６回		２回	A	計画通りに実施したため。	1,059	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
41	〔再掲〕 若年性認知症フォーラムの開催	若年性認知症について理解が深まった受講者の割合	80%	80%	80%	80%	80%		90%	A	計画どおり実施したため。	437	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
42	〔再掲〕 若年性認知症本人交流会の開催	本人交流会の開催	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施したため。	0	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
43	三保松原保全活用事業	松原保全活動参加者数	2,800人	4,700人	4,700人	4,700人	16,900人	令和4,５年度はコロナ前を上回る参加者があったため、指標を過去３年の平均値に上方修正した。	7,591人	S	世界遺産登録10周年記念の啓発事業の効果もあり、目標数値を大幅に上回ったため。	116,809	文化財課
44	〔再掲〕 生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターの配置 協議体の設置	１市 ３区 30圏域	１市 ３区 30圏域	１市 ３区 30圏域	１市 ３区 30圏域	１市 ３区 30圏域		１市 ３区 30圏域	A	計画通り実施したため。	104,948	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
45	〔再掲〕 S型デイサービス（介護予防のための通いの場）の運営	参加者実人数	5,100人	5,300人	5,500人	5,700人	21,600人		4,772人	A	目標の93.5%にあたる4,772人が参加し、概ね目標どおり達成したため。	65,850	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
46	〔再掲〕 かけこまち七間町（認知症ケア推進センター）の運営	来場者数	5,000人	8,000人	8,000人	8,000人	29,000人		12,920人	S	来場者数は、認知症予防講座や七間町商店街との連携イベントの実施により目標を大幅に上回り、前年度比22％増となった。相談件数も前年度（412件）比8％増、認知度向上策実施前の令和３年度（161件）との比較では176％増の444件であり、周知の効果が見られる。効果的な対策の推進にあたっては、予防から既存の医療・介護サービスの利用に至るまでの総合的な支援を行う機関として、かけこまち七間町を位置づけ、既存の支援機関との役割分担を行いながら、令和６年度に、認知症対策に係る体制の再整理を行っていく。	19,417	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
47	〔再掲〕 「認知症の人にやさしい地域づくり」モデル創出事業	モデル創出地域での実施	実施	実施	実施	モデル作成	実施		実施	A	計画どおりに実施したため。	106	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
48	「健康長寿・誰もが活躍」啓発事業	専用ウェブサイト「まるけあネット」月平均訪問者数	2,600人	2,800人	3,000人	3,200人	3,200人		3,382人	S	R４年度から実施している市公式LINEとの連携を継続したことにより、訪問者数が増加し目標を上回った。	992	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
49	就職氷河期世代再チャレンジ支援事業	就労・社会参加者数	70人	90人	関係機関による継続実施	関係機関による継続実施	関係機関による継続実施		135人	S	関係機関との連携により、計画を上回る実績をあげることができたため	35,352	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部、商業労政課

50	障がい者就労アセスメントモデル事業	①就労アセスメント及び研修の実施 ②全体研修の実施	①5事業所 ②2回	①4事業所 ②2回	内容検討	内容検討	①9事業所 ②4回		①5事業所 ②2回	A	計画通り実施したため。	9,999	障害福祉企画課
51	若年無業者就労支援事業	①セミナーの実施 ②出張相談、カウンセリング相談の実施	①2回 ②22回	①2回 ②22回	①2回 ②22回	①2回 ②22回	①8回 ②88回		①2回 ②22回	A	出張相談等を計画どおり実施したほか、セミナーや心理カウンセリングも実施し、就労に悩む若者や保護者の個々の課題に寄り添った支援を行ったため。	990	商業労政課
52	再就職支援技能講座開催事業	講座の開催	2回	2回	2回	2回	8回		2回	A	介護職員初任者研修講座を計画どおり実施したため。	994	商業労政課
53	地元就職・UIターン就職促進事業	①交流会等の実施 ②就職支援情報誌の発行 ③「しずまっち」の適正な管理運用 ④ワークショップ等、キャリア形成支援プログラムの実施	①実施 ②実施 ③適正に管理運用 ④10校	①実施 ②実施 ③適正に管理運用 ④10校	①実施 ②実施 ③適正に管理運用 ④10校	①実施 ②実施 ③適正に管理運用 ④10校	①実施 ②実施 ③適正に管理運用 ④延べ40校		①6回 ②実施 ③適正に管理運用 ④15校	A	①～③の取組を計画どおり実施し、④については計画を上回る数の学校で実施したため。	12,898	商業労政課
54	(新規) 多様な就労困難者の雇用推進プロジェクト	新規雇用者数	－	20人	25人	35人	80人		-	-	評価対象年度が事業開始前であり、評価対象外のため	－	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
55	(新規) 生活困窮者自立相談支援事業	支援プラン作成件数	200件	200件	200件	200件	800件		240件	S	プラン作成件数が計画以上であったため	44,116	福祉総務課

再掲

24

	(3) 食〔食事〕												
1	静岡市食育応援団事業	食育応援団利用件数	50回	50回	50回	50回	200回		45回	A	目標50回に対し、45回実施。達成率90%のため	264	健康づくり推進課
2	食生活改善推進協議会の活動事業	補助対象事業実施回数	100回	100回	100回	100回	400回		103回	A	調理実習・試食を含む教室が再開し、計画通りに実施できた。	700	健康づくり推進課
3	食生活サポート講座	実施回数 延参加者数	17回 150人	14回 140人	14回 140人	14回 140人	59回 570人		17回 101人	B	対象者への周知方法がチラシ配架のみだったことや開催会場への利便性がよくなかったことが影響して、参加者数が増えず目標を達成できなかった。今後は参加者確保のため、他課と連携したチラシの送付や新たにSNS等でのPR活動を行い、より多くの方が参加しやすい開催会場へ一部見直しすることで、目標達成に取り組む。	93	各区健康支援課
4	〔再掲〕 元気で長生き栄養講座	実施回数 延参加者数	14回 140人	14回 140人	14回 140人	14回 140人	56回 560人		16回 125人	A	調理体験・試食を取り入れたことで生涯学習交流館との連携が図れ、計画を上回る実施回数での開催ができた。各種イベント等でのチラシ配布やSNS等でのPR活動を行うとともに、生涯学習センターや生涯学習交流館等と連携し、参加者確保につなげたい。	90	各区健康支援課
5	〔再掲〕 食育普及啓発事業	普及啓発回数	16回	16回	16回	16回	64回		16回	A	SNS等を利用した食に関する情報発信を10回、庁舎内での展示4回、静岡伊勢丹ウェルネスパークで食育の日に栄養相談等を2回行った。	13	健康づくり推進課
6	しずおか「カラダにeat75」事業	啓発冊子等を活用した食育の推進 出張型食育教室	実施 1回	実施 1回	実施 1回	実施 1回	実施 4回		2回 実施	A	高校生を対象に講話と調理実習の食育教室を、計画通り開催した。	490	健康づくり推進課
7	元気静岡マイレージ事業	①働き盛り世代（30～50歳代）の参加者数の割合 ②新たに（従来からの取組+αも含む）健康づくりの取組を始めた者の割合	①35%以上 ②60%以上	①900 ②35%以上	①920 ②35%以上	①940 ②35%以上	①940 ②35%以上	働き盛り世代（30～50歳代）の参加者の割合は計画を達成しているが、コロナ禍以降参加者が横ばいのため、令和6年度からの評価指標は、 ①参加者数、②は働き盛り世代（30～50歳代）の参加者数の割合に変更した。	①45.7% ②74.4%	S	計画を上回って実施できた。働き盛り世代の取組を拡大するため、市内の企業に働きかけ参加につなげた。	572	健康づくり推進課、 各区健康支援課
8	おやこ食育教室	実施回数 延参加者数	24回 280人	24回 280人	24回 280人	24回 280人	96回 1,120人		21回 132人	B	開催会場への利便性がよくなかったことやコロナ禍以降調理体験・試食を中止していることが影響して、目標を達成できなかった。そのため、今後はより多くの方が参加しやすい開催会場へ一部見直し、調理体験・試食を3区で再開することで、目標達成に取り組む。	115	各区健康支援課
9	料理教室事業	実施回数	10回	10回	10回	10回	40回		10回	A	計画通り実施した、	256	中央卸売市場
10	食に関する指導	実施回数	各学年 年1回以上	各学年 年1回以上	各学年 年1回以上	各学年 年1回以上	各学年 年1回以上		各学年1回以上 実施した学校89.6%	B	学校全体の内、89.6%学校で年1回以上「食に関する指導」を実施することが出来た。しかし詳細を見ると、小学校では92.7%、中学校83.6%となっており、中学校における実施率向上が課題として挙げられる。	0	学校給食課

11	食育講習会	参加校数	120校	120校	120校	120校	120校		115校	A	小学校における食に関する指導の実施報告と静岡県立大学教授による食育講話を行い、学校全体で食育に取組む重要性を周知することができた。参加者の90.4%が「参考になった」と回答した。	16	学校給食課
12	在宅訪問歯科診療支援事業	新規で申込みのあった対象者が訪問歯科診療につながった割合	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	訪問歯科診療が必要なすべての寝たきり等の住民に訪問歯科診療の機会を提供できたため	30,317	健康づくり推進課
13	〔再掲〕 歯と口の健康週間事業 （よい歯の8020コンクール）	実施人数	30人	30人	30人	30人	120人		48人	S	目標参加者人数を上回ることができた。新型コロナウイルス感染症の影響で参加人数が一時期減少したが、5類に移行し、参加人数も増えてきたこともあり、今年度は目標値を超える参加があった。	2,156	健康づくり推進課
14	〔再掲〕 口腔機能向上事業 （「歯つらつ健口講座」 「オーラルフレイル普及啓発」）	講座実施回数 講座参加人数 周知啓発	20回 400人 実施	25回 500人 実施	20回 400人 実施	20回 400人 実施	85回 1,700人 実施		22回 591人 実施	A	目標回数20回に対し22回実施し、実施率110％達成。その他、オーラルフレイルの周知啓発として、むせをテーマとしたリーフレットを作成し、地域包括支援センター、保険者等に配布をした。	59	健康づくり推進課
15	フッ化物洗口法による むし歯予防事業	就学前 ①実施施設数 ②実施人数 小学校 ③実施校数	就学前 ①②前年度 比増 小学校 ③6 校	就学前 ①②前年度 比増 小学校 ③6 校	就学前 ①②前年度 比増 小学校 ③6 校	就学前 ①②前年度 比増 小学校 ③6 校	就学前 ①②前年度比増 小学校 ③24校		①135施設 ②5,234人 ③5校	A	休園により、実施施設数は減少したが、希望する全施設において実施することができた。	3,829	健康づくり推進課
16	中小事業所における 歯科健診等の促進	実施事業所数	6事業所	18事業所	6事業所	6事業所	36事業所		6事業所	A	目標6事業所に対し、6事業所にて実施。達成率100％のため	187	健康づくり推進課
17	小中学校での必要な栄養バランス のとれた給食の提供	給食実施回数	180回	180回	180回	180回	180回		180回	A	給食実施計画どおりの実施。	0	学校給食課
18	こども園等での必要な栄養バランス のとれた給食の提供	給食提供園数	自園 44 外搬 13	自園 44 外搬 13	自園 44 外搬 13	自園 43 外搬 12	自園 44（R8年度は43） 外搬 13（R8年度は12） （こども園配置適正により園数変動予定のため）		自園 44 外搬 13	A	乳幼児給食を計画どおり実施。	256,491	こども園課
19	〔再掲〕 静岡市お茶の学校 （静岡シチズンカレッジ こ・こ・に）	講座実施回数	7回	7回	7回	7回	28回		7回	A	計画どおり実施したため。	200	農業政策課
20	お茶の美味しい入れ方教室 （旧：お茶の美味しい淹れ方教室）	お茶の美味しい入れ方教室を希望する全ての市内小学校で実施	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	計画どおり実施したため。	2,782	農業政策課
21	健康・食品産業への支援・育成	セミナー等実施回数 （市内）	1回	1回	1回	1回	4回		1回	A	フードテックによる商品開発に関するフォーラムを実施し、市内事業者に対して、食品産業に関する新しい取組について認知を深める機会を提供した。	2,000	産業政策課
22	〔再掲〕 食育ボランティア人材養成講座 （静岡シチズンカレッジ こ・こ・に）	講座実施回数	9回	9回	9回	9回	36回		9回	A	初年度であったが、定員30人を満たし、27人が修了（3人は自己都合により辞退）し、計画通り実施することができた。	277	健康づくり推進課
23	〔再掲〕 ヘルシー食deブランディング飲食関係者向け専門講座 （静岡シチズンカレッジ こ・こ・に）	講座実施回数	5回	5回	5回	5回	20回		8回	A	初年度であったが、定員5店舗を満たし、「腸活」をテーマにしたレシピを考案することができた。	990	健康づくり推進課
24	新社会人に向けた出張食育教室の実施（しずおかカラダにeat75）	実施事業数	5事業所	5事業所	5事業所	5事業所	20事業所		5事業所	A	目標5事業所に対し、5事業所にて実施。達成率100％のため	94	健康づくり推進課

(4) 体 [運動]													
1	[再掲] しぞ〜かでん伝体操教室	教室参加前後の効果判定の結果、維持・改善した人の割合	85%	85%	85%	85%	教室参加前後の効果判定の結果、維持・改善した人の割合85%		90%	A	地域福祉共生センターを会場に、しぞ〜かでん伝体操教室を開催し、参加者の改善、維持率の結果が計画値通りであった。引き続き、心身機能の改善維持を図るため、地域において継続的な活動につながるよう支援を行っている。	17,820	地域リハビリテーション推進センター
2	[再掲] しぞ〜かでん伝体操活動グループ支援事業	新規活動グループ数 既存活動グループ数	6グループ 168グループ	6グループ 174グループ	6グループ 180グループ	6グループ 186グループ	新規活動グループ 24グループ 既存活動グループ数 186グループ	活動指標がグループ数の為、計画値の単位を箇所からグループへ修正した。	19グループ 176グループ	S	しぞ〜かでん伝体操の取組について、パンフレットの配架や体操体験等を市内各所で実施し、介護予防活動に賛同した市民や民間企業の参画により、自治会館や薬局店舗等に活動拠点が設置でき、設置数は計画値を大きく上回った。	3,159	地域リハビリテーション推進センター
3	[再掲] しぞ〜かでん伝体操サポーター養成講座	サポーター登録人数	1,515人	1,575人	1,635人	1,695人	サポーター登録数1,695人		1,542人	A	市内3区でサポーター養成講座を開催し、計画通り人材育成を実施することができた。引き続き地域で介護予防の普及活動ができる人材を育成していく。	724	地域リハビリテーション推進センター
4	[再掲] ねりんピック選手派遣	代表選手団派遣の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	概ね計画どおり、派遣を実施することができたため。	13,116	高齢者福祉課
5	スポーツイベント等の実施・開催支援	参加者数 ①市民大会 ②区民体育大会（葵・駿河） ③各種スポーツ教室	①40,000人 ②6,000人 ③延べ1,296人	①40,000人 ②6,000人 ③延べ1,296人	①40,000人 ②6,000人 ③延べ1,296人	①40,000人 ②6,000人 ③延べ1,296人	①160,000人 ②24,000人 ③延べ5,184人		①33,764人 ②4,585人 ③延べ2,025人	B	区民スポーツ大会が一部雨天中止となった為、参加者が減少した。	①8,444 ②2,523 ③488	スポーツ振興課
6	市有スポーツ施設におけるスポーツ教室及びスポーツイベントの実施	利用者満足度	90%	90%	90%	90%	90%		97.5%	S	計画通り実施することができ、目標を上回る数値で達成できた。	指定管理料の一部	スポーツ振興課
7	スポーツ推進委員を通じたスポーツイベントの実施	参加者数 ①チャレンジ！ スポーツラリー ②チャレンジ！ スポーツDAY ③ニュースポーツ大会	①400人 ②300人 ③1,000人	①400人 ②300人 ③1,000人	①400人 ②300人 ③1,000人	①400人 ②300人 ③1,000人	①1,600人 ②1,200人 ③4,000人		①232人 ②475人 ③546人	B	チャレンジ！スポーツ・ラリーについて、開催日が津波避難訓練と重複し、会場である清水総合運動場周辺の、訓練対象地区である清水区内小学校へのチラシ、ポスター配架等ができず、十分な周知ができなかった為、参加者数が例年に比べ減少した。 令和6年度は中央体育館を会場としており、姿勢診断ブース等を設け多世代の参加者数の増加を促すとともに、スポーツ推進委員の協力を得ながら、チラシの配布や広報紙の活用、SNS等による広報活動の工夫をし、目標達成を目指す。	14,071	スポーツ振興課
8	体育振興会等の地域スポーツの実施に対する助成	①葵区・駿河区： 実施事業数 ②清水区：参加者数	①300事業 ②5,500人	①300事業 ②5,500人	①300事業 ②5,500人	①300事業 ②5,500人	①1,200事業 ②22,000人		①300事業 ②2,349人	A	清水区民体育大会について、令和4年度の台風15号による中止から、令和5年度においても半日開催としたため、参加者数が目標に届かなかった。	①1,838 ②4,910	スポーツ振興課
9	静岡市駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーションを利用したランニング教室	実施回数	12回	12回	12回	12回	48回		11回	A	雨天中止が1回あったが、その他は計画どおり実施することができた。	指定管理料の一部	スポーツ振興課
10	サッカー等のスポーツやホームタウンチームを活かしたまちづくり	関連施設・イベント入込客数 （アイスタ、草薙総合運動場、全国少年少女草サッカー大会）	123万人	124万人	125万人	126万人	498万人		120.4万人	A	新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月から5類に変更となるまでのイベント入場制限等の影響により、目標を2.1%下回ったが、アイスタや、全国少年少女草サッカー大会の再開による入込客数の増加により、ほぼ計画どおりの実績となった。	82,180	スポーツ交流課
11	勤労者福祉センターでのフィットネス講座の開催	開催講座数（時間数） ラベック静岡 来・て・こ 清水テルサ	36講座以上 26講座以上 900時間以上	36講座以上 26講座以上 900時間以上	36講座以上 26講座以上 900時間以上	36講座以上 26講座以上 900時間以上	144講座以上 104講座以上 3,600時間以上		北部：36講座 南部：32講座 東部：1,506	S	目標を上回る回数・時間数実施したため。	0	商業労政課
12	東静岡地区 「アート＆スポーツ／ヒロバ」運営事業	利用者数	50,000人	28,000人	—	—	利用者数78,000人		83,623人	S	新規利用者の獲得に向けた体験会の開催等により、目標値に対し167%、33,623人の増加であったため。	31,324	企画課
13	バリアフリー法における建築物の整備の推進	福祉のまちづくり条例に適合した施設の割合 （45%の維持）	45%	45%	45%	45%	45%		47.7%	S	計画を上回り実施できている。不適合の場合であっても、適合できるよう指導を行っている。	—	建築安全推進課
14	[再掲] 元気静岡マイレージ事業	①働き盛り世代（30～50歳代）の参加者数の割合 ②新たに（従来からの取組+αも含む）健康づくりの取組を始めた者の割合	①35%以上 ②60%以上	①900 ②35%以上	①920 ②35%以上	①940 ②35%以上	①940 ②35%以上	働き盛り世代（30～50歳代）の参加者の割合は計画を達成しているが、コロナ禍以降参加者が横ばいのため、令和6年度からの評価指標は、 ①参加者数、②は働き盛り世代（30～50歳代）の参加者数の割合に変更した。	①45.7% ②74.4%	S	計画を上回って実施できた。働き盛り世代の取組を拡大するため、市内の企業に働きかけ参加につなげた。	572	健康づくり推進課、 各区健康支援課
15	福祉のまちづくりの推進	増加数	10施設	10施設	10施設	10施設	40施設		17件追加	S	計画以上の施設数を追加することができた。	462	福祉総務課

16	ユニバーサルデザインの普及	ユニバーサルデザイン 推進会議の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施（１ 回）	A	予定とおり、ユニバーサルデザイン推進会議を１回実施した。	44	景観まちづくり課
17	自転車活用推進計画推進事業	自転車専用ウェブサイトでの情 報発信	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	ウェブサイトでの情報発信を実施。	308	交通政策課
18	都市公園のバリアフリー化整備	市内都市公園の バリアフリー化率	70.93%	71.43%	72.05%	72.67%	市内都市公園の バリアフリー化率 72.67%		70.80%	A	計画どおり	34,452	公園建設管理課
19	ノンステップバスの 導入支援	導入率	79%	81%	82%	83%	83%		83.1%	S	計画を上回り導入が進んだことで、バス利用環境の向上が図られたため。	1,000	交通政策課
20	自転車走行空間ネットワーク 整備事業	自転車走行空間の整備	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施したため	116,524	道路保全課
21	地域コミュニティ活動基盤整備 事業（集会所建設費補助金）	新築(大規模改築)の補助金申請 対応率	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	要望どおり対応することができたため。	121,000	市民自治推進課、 各区地域総務課
22	静岡都心地区まちなか再生事業	公共的空間の利活用による賑わ い創出活動の実施及び支援	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	<常磐テラス社会実験> 令和３年度から、青葉緑地C３エリアの「常磐テラス」を継続活用し、「な つあそび」「ハンドベル演奏会」等のイベントを地域と協働で実施。イベン トの実施により、一定の来場があったことから、「常磐テラス」の認知度向 上に繋がった。イベントや日常的に市民が寛げるスペースとして、居心地の 良い場づくりに貢献するとともに、住民同士の交流の促進に寄与している。	0	都市計画課、 道路計画課
23	道の駅宇津ノ谷峠 健康ウォーキング事業	実施回数	２回	３回	２回	２回	８回		１回	C	令和５年11月23（木）にウォーキングイベントを実施。約100名の参加が あった。令和６年３月に２回目を実施予定であったが、主催者との日程調整 により令和６年４月21日（日）に延期開催し、約100名の参加があった。	0	道路計画課

再掲

3 章 持続可能な介護保険制度の実施													
1	介護人材の確保対策	介護職員初任者研修受講就労助成金事業 （制度利用者数）	12人	20人	20人	20人	72人		29人	S	計画を大きく上回ったため	1,221	介護保険課
		介護従事者のためのスキルアップ研修事業 （受講者の従事継続率）	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上		98%	A	計画通り実施した。		
		市民向け介護講座 （参加人数）	60人	120人	120人	120人	420人		74人	S	計画を大きく上回ったため		
		介護サービス事業所・教育関係者等との連携 （事業の実施）	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。		
		高齢者の参入促進 （事業の実施）	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。		
2	[再掲] 認知症介護実践者等研修事業	各研修開催数 実践者研修 実践リーダー研修 開設者研修 管理者研修 計画作成担当者研修 指導者養成研修	各研修 1回	各研修 1回	各研修 1回	各研修 1回	各研修 1回		各研修 1回	A	計画通り実施した。	0	介護保険課
3	[再掲] 認知症施策等総合支援事業	受講者数 （累計）	1人 (12人)	1人 (13人)	1人 (14人)	1人 (15人)	4人		1人 (12人)	A	計画通り実施した。	290	介護保険課
4	介護給付適正化事業 ア 要介護認定の適正化 イ ケアプランの点検 ウ 住宅改修等の点検 エ 縦覧点検・医療情報との突合 オ 介護給付通知 カ 給付実績の活用	ア 認定調査結果の点検	100%	100%	100%	100%	100%		100%	A	計画通り実施した。	－	介護保険課
		ア 各研修等の開催	各種1回以上	各種1回以上	各種1回以上	各種1回以上	各種1回以上		各種1回以上	A	計画通り実施した。	207	介護保険課
		ア 「業務分析データ」結果の比較分析	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	－	介護保険課
		イ ケアプランの点検	5件	5件	5件	5件	20件		5件	A	計画通り実施した。	250	介護保険課
		ウ 住宅改修の点検 （書面）	全件	全件	全件	全件	全件		全件	A	計画通り実施した。	－	介護保険課
		ウ 住宅改修の点検 （現地調査）	6件	実施	実施	実施	実施		12件	A	計画通り実施した。	－	介護保険課
		ウ 福祉用具購入、貸与の調査 （書面）	全件	全件	全件	全件	全件		全件	A	計画通り実施した。	－	介護保険課
		ウ 福祉用具購入、貸与の調査 （問合せ等）	6件	実施	実施	実施	実施		11件	A	計画通り実施した。	－	介護保険課
		エ 縦覧点検・医療情報との突合	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施		実施	A	計画通り実施した。	－	介護保険課
		オ 介護給付費通知	2回	2回	廃止	廃止	4回		2回	A	計画通り実施した。	5,331	介護保険課
		カ 介護給付適正化システムによる帳票の点検	4帳票以上	4帳票以上	4帳票以上	4帳票以上	4帳票以上		4帳票以上	A	計画通り実施した。	－	介護保険課

5	介護サービス事業者の指導監督	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	1,376	介護保険課
6	介護相談員派遣等事業	実施に対する事業所のアンケート結果（効果があるとの回答割合）	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上		73%	A	計画通り実施した。	5,093	介護保険課
7	介護保険制度等の情報発信	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	1,364	介護保険課
8	介護サービス情報の公表	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	-	介護保険課
9	低所得者の負担軽減 ア 市独自の利用料軽減（居宅サービス利用促進事業） イ 社会福祉法人により提供されるサービス利用料等の軽減 ウ 補足給付（特定入所者介護サービス費） エ 市独自の保険料軽減	各事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	ア 364 イ 49,353 ウ 1,231,084 エ 661,400（減免額）	介護保険課
10	その他利用料・保険料の軽減・減免 ア 高額介護サービス費の支給 イ 高額医療合算制度 ウ 災害等による利用料・保険料減免	各事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	ア 1,554,487 イ 203,925 ウ 24,200（減免額）	介護保険課
11	山間地域への事業者参入促進（山間地介護報酬加算補助金）	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	2,832	介護保険課
12	介護認定審査会のオンライン開催	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	2,289	介護保険課
13	介護サービスの生産性向上のためのICT導入支援	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	1,980	介護保険課
14	（新規）介護現場の文書負担軽減等	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	-	介護保険課
15	（新規）介護現場の安全性の確保等	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	-	介護保険課
16	（新規）要介護施設従事者等による高齢者虐待の防止	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施		実施	A	計画通り実施した。	-	介護保険課

再掲

（健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画）新規掲載事業抜粋版

No	(1) 事業名	(2) 事業内容	(3) 事業量					(5) 令和5年度実績報告			令和5年度 決算額 (千円)	所管課	
			活動指標	計画4年間				①実績 (令和6年3月末)	②評価 (令和6年3月末)	③評価の理由 ※評価がBまたはCの場合は、課題と課題解決に向けた取組み(対応策等)も記載			
				R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)						R5～R8年度の4年間 全体での実施結果
2 ＜山腹＞市民の連携による地域での支え合い体制の整備													
(1) 介護予防													
15	(新規) 成果連動型民間委託契約方式を活用した魅力的な介護予防事業	従来の委託契約方式でない新たな公民連携手法であるP F Sを導入し、民間事業者の取組意欲の向上を図り、ノウハウ等を活用することによる魅力ある介護予防プログラムを実施します。	事業の実施	—	実施	実施	実施	実施	-	-	本年度計画なし(令和6年度から開始)	-	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
16	(新規) 難聴高齢者早期発見・早期支援事業	高齢者難聴は認知症の危険因子の一つとされており、うつ、社会的孤立等との関連も指摘されていることから、高齢者を対象とした難聴の早期発見や支援及び本事業参加者を対象とした補聴器購入費助成の試行実施を行うことで、高齢者の社会参加促進や認知症予防に繋がります。	早期発見と早期支援の取組	—	20会場での開催	20会場での開催	R6の状況を踏まえ再検討	R6～R7年度の2年間で40会場での開催、R8はR6の状況を踏まえ再検討	-	-	本年度計画なし(令和6年度から開始)	-	高齢者福祉課
		本事業参加者を対象とした補聴器購入費助成の試行実施	—	実施 (50人程度)	実施 (50人程度)	R6の状況を踏まえ再検討	R6～R7年度は実施(100人程度)、R8はR6の状況を踏まえ再検討						
3 ＜裾野＞市民の自主的な健康長寿・誰もが活躍の取組の促進													
(1) 見える化													
21	(新規) 精神科医による精神保健定例相談	精神疾患やその治療について、精神科医が相談や指導を行う定例相談を開催します。 (各区月1回・予約制)	過去3年間の開催回数実績の平均値	30回	30回	30回	30回	120回	19	C	年間枠に対する開催数は52.8%と目標を下回った。特に駿河区、清水区での相談予約が少なかった。例年、広報と精神保健福祉のしおり、各区障害者支援課で事業について周知していたが予約数が伸びなかったことから、令和6年度は、さらなる事業周知のために例年の周知に加え、障害分野以外にも対象とし、各区の福祉事務所に周知を広げた。潜在的な相談対象者もあり、ニーズもあることから、相談会のチラシを新たに作成し、年度当初に関係課・関係機関に配布し、毎回の相談会の予約が埋まるように取り組みを行っていく。	672	精神保健福祉課
(2) 知 [就労・社会参加]													
54	(新規) 多様な就労困難者の雇用推進プロジェクト	働きづらさを抱えながらも就労や社会参加を希望するすべての人が、生きがいや役割を持ち望む場所で活躍できる環境を整えます。	新規雇用者数	—	20人	25人	35人	80人	-	-	評価対象年度が事業開始前であり、評価対象外のため	—	地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
55	(新規) 生活困窮者自立相談支援事業	生活困窮者自立支援法に基づき、生活や仕事に不安を抱える生活困窮者が早期に自立するため、各区に自立相談窓口を設置し、生活困窮者のおかれた状況に応じた自立支援プランを作成し伴走型の支援を実施します。	支援プラン作成件数	200件	200件	200件	200件	800件	240件	S	プラン作成件数が計画以上であったため	44,116	福祉総務課

3 章 持続可能な介護保険制度の実施													
14	(新規) 介護現場の文書負担軽減等	指定申請や報酬請求等に係る国が定める標準様式及び「電子申請・届出システム」の使用を原則化します。また、国の構築した「ケアプランデータ連携システム」の推進に向け、広報や説明会を実施します。	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	計画通り実施した。	-	介護保険課
15	(新規) 介護現場の安全性の確保等	介護職員の働きやすい環境づくりを支援するため、介護現場の安全性の確保、リスクマネジメントの推進、ハラスメント対策等について、介護事業所対象の集団指導や介護職員向け研修等において周知を行います。	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	計画通り実施した。	-	介護保険課
16	(新規) 要介護施設従事者等による高齢者虐待の防止	令和3年度介護報酬改定において、介護サービス事業者に、高齢者虐待防止の推進（指針の整備、研修の実施、委員会の開催等）が義務付けられたため、介護事業所対象の集団指導や介護職員向け研修等において指導や支援等を行います。	事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	A	計画通り実施した。	-	介護保険課

静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の位置づけ

【概要】

- 「第4次静岡市総合計画」の「5大重点政策(子どもの育ちと長寿を支えるまちの推進)」を踏まえ、「第9期高齢者保健福祉計画(老人福祉法第20条の8)」と「第8期介護保険事業計画(介護保険法第117条)」を核に令和4年度に策定。
- 令和5年度に、核とする両法定計画が計画期限となり、見直されたことから、その内容を踏まえ、市の計画の一部改訂を行った。
- 本計画は、地域福祉基本計画や健康爛漫計画など、市の他計画と整合を図っている。
また、本計画に特に関わる保健福祉長寿局だけでなく、関係する各局等の施策も含め、横断的かつ一体的に推進している。

